

滋賀県議会議員

九里学レポート

発行：くのり学後援会
発行責任者：九里学
編集責任者：中井光繁
〒520-3031 栗東市錦7丁目11-39 ファミールエポック202
TEL:077-554-1310 FAX:077-554-1384
Mail to : try@9ri.jp

2013年
第102号
大寒号

「くのり学」環境・農水常任委員長として24年度滋賀県とともに進めた主要事業

パートI《農政水産部関連—24年度これまでの農業・林業・水産業の発展に向けての成果》

- 24年度から新たに、地域農業を抱える人・農地の問題を解決するため、地域・集落毎の話しあいをもとに市町において「人・農地プラン」を策定する取り組みを推進(※11月末現在：7市26プラン策定済)
- 24年度から新たに、新規就農者の確保・定着を図るため、就農準備段階《準備型最長2年間》の就農希望者と就農直後《経営開始型最長5年間》の青年に対して、年間150万円の青年就農給付金を交付する制度を確立
(※平成24年度交付対象者：準備型約10人 経営開始型：約40人)
- 近江米、近江牛、湖魚《琵琶湖産アユ・びわます他》の県内外への発信とブランド化の積極展開化する。
- 猛暑に強い近江米新品種「みずかがみ」を開発。24年度270戸作付。来年度には作付1000ヘクタールを目指す。
- 「食べることで、びわ湖を守る」キャンペーンを滋賀県発で発信。県阪神へ「環境こだわり米」をキャンペーン化し、県内外に近江米のよさを啓発。全国展開化。
- 香港において滋賀県産の農畜産物のプロモーションを実施。香港・台湾をふくめたアジアを中心とした海外への積極的なマーケティング展開始める。
- 外来魚駆除に電気ショックカーポート「雷神」を滋賀県で始めて導入し、琵琶湖の生態系に悪影響を長年及ぼしてきた外来魚駆除に効果を生む
- 「全雌三倍体ピワマス」が水産庁の「三倍体魚等の水産生物の利用要領」の適合確認を取得し、新たに「滋賀のピワマス」としてブランド化。全国発信展開へ。
- 滋賀県醒井養鱒場をアウトソーシングし指定管理者制度導入により民活で効率的かつ積極的な運営形態を展開する。
- 昨夏以降のアユの稚魚激減に対応するため、緊急資源対策を早期に導入し、個体数確保対策をいち早くすすめる。
- 長年の懸案事業だった、愛知川用水対策を地元の理解のもと、平成25年度から全体実施設計することが決定。
- 東日本大震災の震災復興のため、実務能力のある農政水産部農業土木技術職員3名を福島県へ継続的に派遣する引き続き、福島県の災害復旧事業支援を継続中。
- 湖国産食材のブランド力強化のために、京都市内の人気飲食店35店で近江米や近江牛、琵琶湖の湖魚を使って独自に開発した限定メニューを提供。国際観光都市京都で国内外の人々に滋賀の食材のよさをPRする。





交通安全街頭啓発
(11/25於:さくら)

**衆議院議員選挙の応援に
市内を駆け巡る!**
(12/4~12/16)



平成25年度当初予算主要事業を県執行部と協議(1/8~1/11於:県議会棟)



各年賀会で新年の挨拶
(1/6~1/20)



年末恒例のもちつき
(12/28於:自宅)



**経費節減のため駅西口に
新事務所転居(1/8)**



金勝川・中村の県浚渫工事中



新駅跡地周辺道路整備中

2月県議会定例会日程

2/14(木)	開会・議案上程知事 提案説明等
19(火)~ 27(水)	質疑・質問日(代表・ 一般)
3/1(金) ~22(金)	予算特別・常任委員 会、採決、閉会